

## 第41回学長選考会議議事概要

日 時 平成29年8月4日（金） 14時25分～15時05分  
場 所 本部棟 特別会議室  
出席者 國澤（議長）、上村、川本、中西、林、矢部、樫見、青木、金子、鏡味、上杉、堀  
オブザーバー 村本、石原

### 1 前回議事確認

第40回学長選考会議 平成29年5月18日

### 2 議 事

#### (1) 学長の再任の可否について

議長から、学長の再任審査に係る金沢大学学長選考規則の規定について説明があった後、所信表明書、業績調書ほか審査資料の審査、学内者・学外者からの再任に対する意向聴取及び学長への面談の結果を踏まえ、学長の再任について審議を行った。

審議の結果、「学長に求められる資質及び能力」を十分に有し、学長就任以降多くの実績を上げ、今後の2年間も大学改革を推進できる人物であると判断できることから、再任を可とすることを全会一致で決定した。

(主な意見)

- ・意向聴取においては、聴取した全員が山崎学長の再任を前提とした意見が多数を占めた。各共通質問事項に対しては以下の意見があった。

#### ① 学長に求められる資質・能力について

人柄、ビジョン、強力なリーダーシップの発揮の面において、学長に求められる資質・能力を有しているとする意見が多数であった。特に、実行力と気力が高く評価され、国際レベルで活躍する学長への期待が示された。

#### ② これまでに実施してきた改革・施策について

YAMAZAKI プランを策定し、教育・研究・社会貢献の全般にわたって改革の成果を上げていることは、高く評価されていた。ただし、短い期間で改革が進められていることもあり、事業開始後、必要に応じた見直し・改善の実施を求める意見があった。

#### ③ 執行部の体制について

学長の強いリーダーシップが多く改革の推進力となっている意見が多かった。全学がより一体感を持って改革を推進できるよう、執行部と部局間のきめ細かい情報共有・意見反映の仕組みを求める意見があった。

- ・再任に当たって、①執行部と部局間のきめ細かい情報共有・意見反映を行うこと、②事業開始後、必要に応じた見直しを行うこと、を留意事項として示したい。

以上